



小田原箱根商工会議所青年部

創立10周年記念誌



10th
小田原箱根商工会議所 青年部

YEG

小田原♥箱根

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
私たちはYEGとして、地域を愛し、日本（にっぽん）を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は
一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
一、国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう
一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の礎となろう

伸びゆく大地

伸びゆく大地 伸びゆく大地 日本の広がる街なみ 青い空
集える仲間は それぞれに 地域を支える 気概持つ
願いをかたちに 変えるため 商工会議所 青年部
求めて我らは 立ち上がる
幾山河を 幾山河を 越えていく
道は果てなく 遠いけど 夢追う気持ちは 忘れない
人と人とが 語りあい 心と心を 結ぶため 商工会議所 青年部
時代を我らは 先駆ける
自由の海の 自由の海の 渚には
世界の波が 打ち寄せる 歴史の舵は いつの世も
熱ある者が 取ってきた 豊かな郷土を 築くため 商工会議所 青年部
明日に我らは 船出する

挨拶・祝辞





小田原箱根商工会議所青年部

会長

菊川 鉄也

小田原箱根商工会議所青年部は設立から10年目を迎えることができました。
小田原YEG31年間、箱根YEG20年間そして、小田原箱根YEG10年間という長きに渡り、ご尽力を頂きました先輩諸氏に心からの敬意と感謝を申し上げますとともに、これまで格別なるご指導とご支援をいただきました小田原箱根商工会議所をはじめとする関係各位、諸団体の皆様に深く御礼申し上げます。

小田原箱根YEGは設立以来、強い結束力のもと小田原箱根地域の健全な発展に貢献するとともに商工会議所の組織強化に寄与し、ひいては地域の商工業振興の支えとなることを目的に活動し、県西エリア最大規模の青年団体となる組織へと成長を遂げました。

近年多発する災害や未知のウィルスは、私たちの衣食住を一時的にガラリと変え、論理的に未来予測をしたところで想定外の出来事が起こるかもしれないのは、この10年を見れば明らかなです。それでも、未来と向き合う事を諦めず、歩み続けて参りました。

そして、これからの時代は、既存の知識が通用しなくなる可能性が高く、疑問は、AIを活用すれば解決し、知識力だけを見れば、AI一択となります。そこで、逆に重要になってくるのが良質な問いです。この良質な問いを可能にするのは、好奇心による「なぜ?」となります。少し先の物語を描き、我々が進む方向を本質的に見定め、「あるべき姿は何なのか?」という問いを忘れず、勇気を持って改革を続けて参ります。

小田原箱根の先輩諸氏が礎となり、時代を越えても価値を失わない本物の糧を繋いできたからこそ、今日の小田原箱根YEGの歴史とクリエイティブなプロセスがあります。だからこそ、受け継いで本物の糧を次代へとつなぎ、その文脈を理解し、地域が持つ固有の価値や風土的・文化的多様性を活かせる街づくりをこれからも継承して参ります。

結びに、関係各位の皆様の方々の益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに、今後とも格別なご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



小田原箱根商工会議所

会頭

鈴木 悌介

小田原と箱根の青年経済人ががっちりと手を携えて一体で活動しようと新しいスタートを切ってから10年。その節目に際し、心よりお祝いと激励を申し上げます。併せて、これまで、お支え、ご支援、ご指導くださった全ての皆さまに御礼を申し上げます。

私事で恐縮ですが、小田原で生まれ育ち、大学を出てすぐに家業の海外展開のため米国に渡り、1981年に会社を立ち上げ、10年間その経営に携わっていました。帰国後、青年部に入会させてもらい、活動に勤しむ中、2003年には日本YEGの会長を拝命しました。青年部に関わることがなければ、会頭職を務めることはなかったと思います。地域経済の重要性とその可能性に気づかせてくれたのは青年部であると言っても過言ではありません。会員も増え、積極的に活動に勤しんでくれているYEGの姿はとても頼もしく嬉しい限りです。

さて、国内では人口減、少子化、高齢化、働き手不足、ポストコロナでの社会意識の変化、世界的には不安定な国際情勢、気候変動の激化、脱炭素の要請、SDGsやESGと言った新しい企業の行動規範への対応などなど、これまで経験したことがないような時代の大変革期の渦中で、商売でもまちづくりでも私たちは参考書のない問題を突きつけられているように感じます。求められることは、変化に対応し、変化を作り出す自由な発想と大胆な行動、つまり、イノベーションだと思います。過去の成功経験はともすると足枷になってしまうかも知れません。経験の多寡は問題ではありません。

YEGの皆さんの出番です。確かに皆さんは年齢は若いかも知れませんが、社会を構成する立派な存在です。まだ若いからと遠慮している場合ではありません。同じ地域で暮らし商売を営む者の責任と権限のある大人として考え行動してほしいと思います。商工会議所を動かす存在になってください。

そして、イノベーションには学び続けることが必須です。人生100年時代と言われます。リスクリングとかリカレントとか横文字が目立ちますが、要は一生勉強ということ。勉強は学生時代だけのものではありません。いろいろなことに興味を持ち、学び続けてください。それは自分の人生を豊かでイキイキワクワクと過ごすコツかと思えます。YEGであることを活かし、皆さんと皆さんの会社の成長につなげて行って欲しいと切に願います。お祝いの言葉を申し上げるはずが、つつい激励になってしまいました。共に持続可能な小田原、箱根のために力を尽くしていきましょう。

小田原市長 祝辞



小田原市

市長

加藤 憲一

小田原箱根商工会議所青年部が創立10周年を迎えましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴青年部におかれましては、日頃から小田原の地域経済を支え、より一層の活性化に向けて、日夜ご尽力いただきまして、改めて感謝を申し上げます。

この10年間に、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。とりわけ、全世界に影響を与えた新型コロナウイルスの感染拡大により人・物の動きや経済活動は強く制限され、各国経済、地域経済は前例のない低迷に陥りました。そして、現在もまた、物価や人件費の高騰、人手不足など、地域経済を取り巻く環境が、非常に厳しい状況にあります。

そのような中であって、皆様方は、次世代のビジネスリーダーを育てる役割を果たすため、ご自身の仕事に加えて、貴青年部での様々な取り組みをされてきました。皆様方ご自身やそれぞれの事業所の成長を目指し、研修会などを催され、地域経済を支えていただく人づくりだけでなく、地域に根差し、若く新しい視点と熱意をもって、さまざまに積極的な活動を展開され、この地域を盛り上げていただいています。

私は、「誰もが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと小田原」の実現にむけ、私たちが直面する困難を乗り越えるために、小田原の有する自然、人、地域、産業、文化といった力を結集させ、その力を最大限に引き出し、未来へと続く道を市民の皆さまとともに拓く所存であります。

貴青年部の皆様方のご活動、その中で皆様が仲間との絆を深められ、その絆がさらにまた地域の経済活動を盛り上げる大きな原動力になること、力が集結し、最大限に引き出されることとご期待しており、引き続き、ともにこの小田原を盛り上げていただくことをお願い申し上げます。

終わりに、小田原箱根商工会議所青年部が、この10周年の節目を契機にますます発展することを祈念するとともに、関係機関、そして貴青年部の皆様方に、改めまして厚くお礼申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

箱根町長 祝辞



箱根町

町長

勝 俣 浩 行

小田原箱根商工会議所青年部が創立10周年を迎え、
本日、記念式典が開催されましたこと、お慶び申し上げます。

また日頃より、小田原箱根商工会議所青年部の皆さまにおかれましては、地域社会の健全な発展を図るため、青年経済人としての信念をもって活動をしておりますことに対しまして、敬意を表するところであります。

振り返るとこの10年は、変化の10年であったと感じます。平成から令和への元号の変化は、どこか名残惜しくもあり、新しい元号を迎えることに心機一転気持ちを新たにスタートした方もいらっしやったことと思います。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、長い自粛生活とともに観光業を主とする箱根町にも大きな打撃を与えましたが、命の大切さや人のあたたかさを再認識するきっかけにもなりました。そして、コロナ禍を乗り越え新しい生活様式へと変化してまいりました。

変化の大きな10年でしたが、箱根の美しい自然は変わらずあり続けました。一時は見ることのできなかつた観光を楽しむお客様の笑顔も小田原箱根商工会議所青年部の皆さまをはじめとする働く皆さまのパワーに支えられ、今も変わらず箱根町にあります。また、新しい生活様式として自然とともにありたいという方が増え、箱根で暮らす・箱根で働く方が増えたことも嬉しい限りでございます。

箱根町がたくさんの方々から愛される町であり続けられるのは、皆さまが若さと情熱をもって地域のため、これからの10年、20年先の未来を見据え、変化を恐れず積極果敢にチャレンジし続け、創造と発展にご尽力いただいたおかげであります。改めて、感謝申し上げます。

結びとなりますが、小田原箱根商工会議所青年部のますますのご発展と、会員皆さまのご多幸とご健勝を心より祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

神奈川県商工会議所青年部連合会長 祝辞



神奈川県商工会議所青年部連合会 会長

大森 啓田

小田原箱根商工会議所青年部創立10周年、心からお慶び申し上げます。

2014年5月に小田原青年部と箱根青年部の会長が結納と例えて調印し、翌年4月に産声を上げた貴青年部が、お互いを尊重し合い、協力し、地域社会の発展のために日々尽力されました。この10年を紡いできたOB・OGの皆様、現役会員の皆様のご功績に深く敬意を表します。

また小田原箱根商工会議所青年部の皆様におかれましては、平素より神奈川県商工会議所青年部連合会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の人口減少、高齢化社会が進む中、消滅可能性都市の発表がありました。我々は地域社会で商売をし、その地に住み暮らすものとして、地域を愛しています。しかし将来その地が消滅する可能性があるというならば、そんな未来は絶対に迎えてはならない、変えていかなければならないでしょう。このような状況に対して、今求められているのはコミュニティーの力です。地域住民が協力し合い、共通の目標に向かって活動する、その中心的な存在がYEGであり、青年経済人としての責務だと感じております。

令和6年度は「つぼみ team project C・B」のスローガンを掲げ、菊川会長の強いリーダーシップのもとに、一度初心に戻り、メンバー同士の絆を構築していると伺っております。地域の持続可能な未来を描くためには、新たな挑戦、創意工夫、道なき道を行く勇気と情熱が必要です。今まさに挑戦するチャンスと、前に踏み出す勇気を育む環境を整え、未来を切り開いていこうとしています。その行動こそが次の10年に向けたつぼみであり、必ずや小田原、箱根の地に大輪の花を咲かせることでしょう。

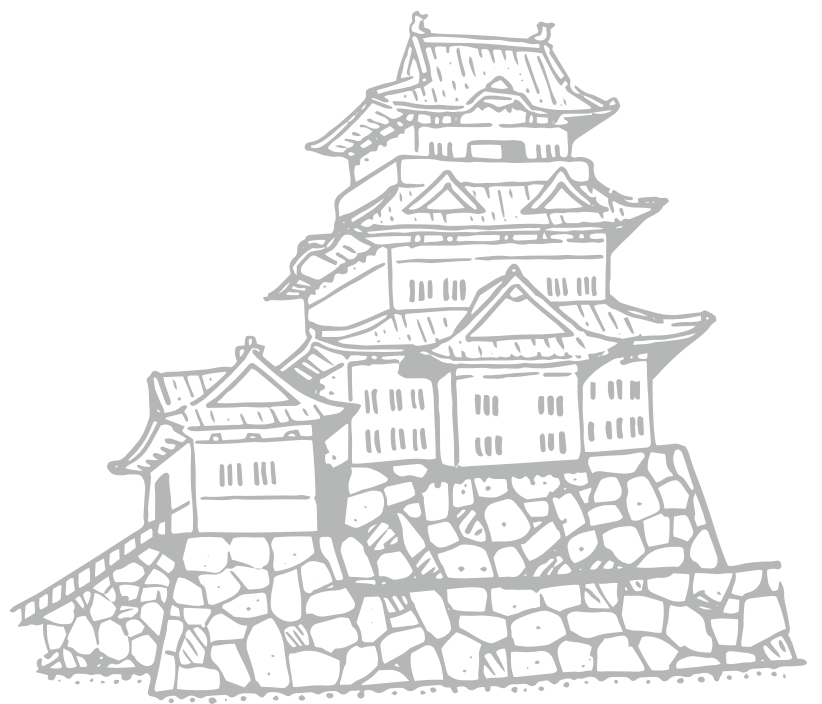
今年度の神奈川県連はYEG Growing Up!～先駆けろ!次代に繋がる美しい神奈川は我らが築く!～をスローガンに、豊かな郷土を築くために、地域の為、仲間の為、愛する家族、子供たち、次世代のために、ひとりひとりの個性と若い芽を摘まない、挑戦できる環境を整え、明るい未来の創造に向かって神奈川県連全員で成長するべく活動しております。そして、令和8年度には神奈川県連の主管地が貴青年部にやってきます。

歴史の舵は いつの世も 熱ある者が取ってきた

活力ある小田原箱根の地に連合会がやってきたとき、どんな活動が始まるのか、期待が沸き上がり、心待ちにしております。

結びに、この記念すべき10年の節目を迎えることで、小田原箱根商工会議所青年部の皆様がより活発に、地域と仲間の強固なネットワークを活かし、街を活性化させ、皆様の企業と地域が益々の発展を迎えますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

小田原箱根商工会議所青年部 創立まで
小田原青年部 設立31年のあゆみ



小田原青年部 設立31年のあゆみ

昭和58年度/1983年

● 初代 部長 山口 正隆

昭和59年度/1984年

● 初代 部長 山口 正隆

昭和60年度/1985年

● 初代 部長 山口 正隆

昭和61年度/1986年

● 第2代 部長 井上 敦久

昭和62年度/1987年

● 第2代 部長 井上 敦久

昭和63年度/1988年

● 第3代 部長 向山 研一

平成元年度/1989年

● 第3代 部長 向山 研一

平成2年度/1990年

● 第4代 部長 堀江 眞

平成3年度/1991年

● 第4代 部長 堀江 眞

部長から会長へ呼称変更

平成4年度/1992年

● 第5代 会長 田中 成幸

平成5年度/1993年

● 第5代 会長 田中 成幸

小田原青年部 設立31年のあゆみ

平成6年度/1994年

● 第6代 会長 **中戸川 洋**

平成7年度/1995年

● 第6代 会長 **中戸川 洋**

平成8年度/1996年

● 第7代 会長 **立野 州一**

スローガン

努力 感動 感謝 ~自己実現へ向けて~

平成9年度/1997年

● 第7代 会長 **立野 州一**

平成10年度/1998年

● 第8代 会長 **小澤 良雄**

スローガン

屋号の見える青年部

平成11年度/1999年

● 第8代 会長 **小澤 良雄**

平成12年度/2000年

● 第9代 会長 **鈴木 悌介**

スローガン

自分が変わる、まちが変わる、そして日本が動き出す」新世紀商い塾YEG

平成13年度/2001年

● 第9代 会長 **鈴木 悌介**

平成14年度/2002年

● 第10代 会長 **高橋 修**

スローガン

「温故創新」 一自分らしく、小田原らしい、夢の創出へー

平成15年度/2003年

● 第10代 会長 **高橋 修**

小田原青年部 設立31年のあゆみ

平成16年度/2004年

第11代 会長 **里見 昌宏**

スローガン
～ 一步一步確実に前へ～
「前向き」に「行動」し「達成感」を共有して「絆」を深めよう

平成17年度/2005年

第11代 会長 **里見 昌宏**

平成18年度/2006年

第12代 会長 **小林 幸一**

スローガン
～ 生き方以上に美しくはなれない～
「社会の責任ある立場の人間として 志を高く 信念ある行動をしよう」

平成19年度/2007年

第12代 会長 **小林 幸一**

平成20年度/2008年

第13代 会長 **高井 哲也**

スローガン
変化を受け入れ共に進化しよう!

平成21年度/2009年

第13代 会長 **高井 哲也**

平成22年度/2010年

第14代 会長 **金井 俊典**

スローガン
「can we? YES YEG!」

平成23年度/2011年

第14代 会長 **金井 俊典**

平成24年度/2012年

第15代 会長 **村上 隆**

スローガン
～ 感謝～
そして未来へ 仲間と語り合い共に行動しよう! 地球そして自分のために

平成25年度/2013年

第15代 会長 **村上 隆**

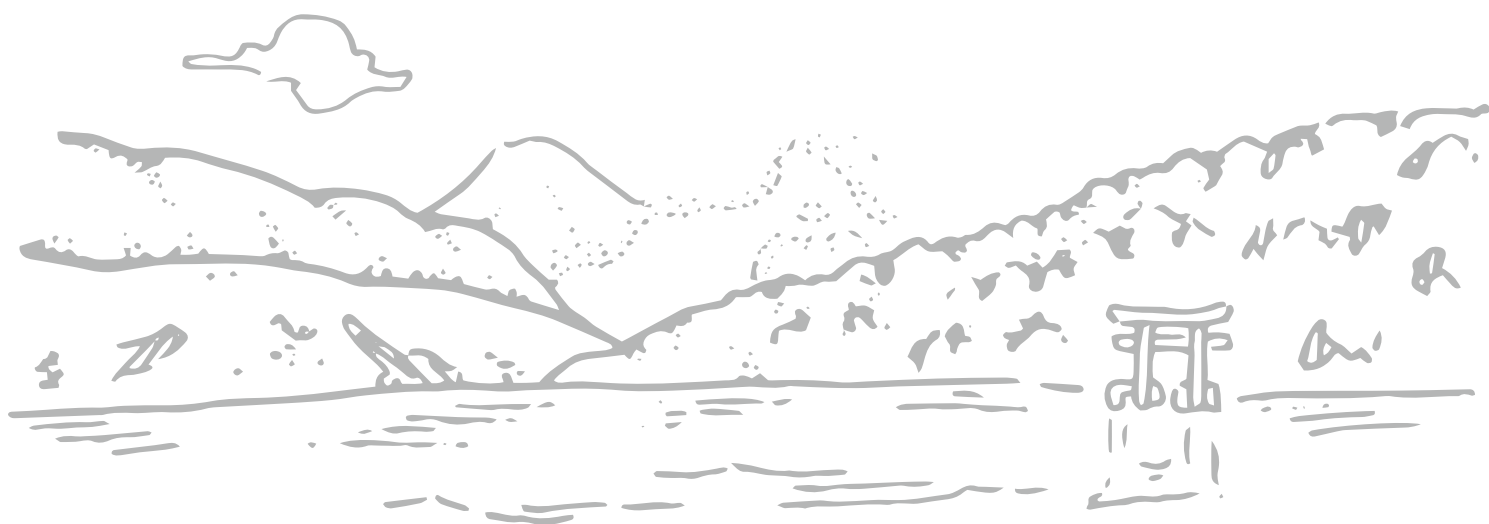
平成26年度/2014年

第16代 会長 **浅野 達也**

スローガン
「おもしろき こともなき世を おもしろく」
～すべては自分次第だべ!～

小田原箱根合併調印式へ

小田原箱根商工会議所青年部 創立まで
箱根青年部 設立20年のあゆみ



箱根青年部 設立20年のあゆみ

平成7年度/1995年

初代 会長

勝俣 澄雄

平成8年度/1996年

初代 会長

勝俣 澄雄

平成9年度/1997年

第2代 会長

佐山 和則

スローガン

意識を変え行動を起こす! ~ものの見方、考え方の再点検~

平成10年度/1998年

第3代 会長

井島 誠行

スローガン

本気で! 本音で! 本物を!

平成11年度/1999年

第4代 会長

吉田 幸伸

スローガン

『チェンジ チャンス チャレンジ 語りつぐ夢 新世紀へ!』

平成12年度/2000年

第5代 会長

岡田 政道

スローガン

「情熱! 行動!」21世紀へ向かって「商売」そして「箱根」を見つめよう

平成13年度/2001年

第6代 会長

小川 智道

スローガン

意識、視点を変える・・・そして一步前へ

平成14年度/2002年

第7代 会長

石島 鉄也

スローガン

「感謝を原動力に次のステージへ」

平成15年度/2003年

第8代 会長

杉山 秀司

スローガン

「箱根愛でCO-DO(行動)しよう」「感謝を原動力に次のステージへ」

平成16年度/2004年

第9代 会長

上野 裕

スローガン

掴む

箱根青年部 設立20年のあゆみ

平成17年度/2005年

第10代会長 **田村 洋一**

スローガン

さあ～こっからだぁ『一NEN入魂』風を感じろ!風を起こせ!風に乗れ!

平成18年度/2006年

第11代会長 **田中 久士**

スローガン

『偶然の出会いを必然にかえて郷想心で未来を拓こう』

平成19年度/2007年

第12代会長 **神山 久**

スローガン

『箱根ルネッサンス』～愛と情熱そして結束～

平成20年度/2008年

第13代会長 **勝俣 和久**

スローガン

(和 Nagomi) 3つの和

平成21年度/2009年

第14代会長 **石島 鉄也**

スローガン

「自然」～力みなく、美しく～

平成22年度/2010年

第15代会長 **鈴木 昭生**

スローガン

「素志貫徹一熱き魂の仲間と共に」襷を胸に

平成23年度/2011年

第16代会長 **駒 慎司**

スローガン

HAKONE UNITED!箱根ユナイテッド!
～地域・事業を越えた一つの箱根を目指して～

平成24年度/2012年

第17代会長 **上原 健一**

スローガン

原点 (ZERO) を見つめて、希望の未来へ。

平成25年度/2013年

第18代会長 **桜井 昭弘**

スローガン

温故知新～未来への挑戦～

平成26年度/2014年

第19代会長 **中嶋 順**

スローガン

一 改 一 改めて、緑豊かな箱根を愛し、箱根の未来を共に創造する。

小田原箱根合併調印式へ

小田原・箱根商工会議所 青年部 設立 調印式

合併協定書

小田原箱根商工会議所小田原青年部（以下、「小田原青年部」といいます）と小田原箱根商工会議所箱根青年部（以下、「箱根青年部」といいます）とは、合併を行うため、ここに合併協定書を締結する。

（合併の手續）

- 第1条 小田原青年部、箱根青年部は平成27年4月1日をもって統合し、「小田原箱根商工会議所青年部」（以下、「新青年部」といいます）を新たに設立する。
2. 両青年部の会員は、平成27年3月31日現在の会員資格を棄する者を除く、当然に合併期日より新青年部の会員となる。

（設立準備総会）

- 第2条 合併期日より新青年部を運営するため、平成27年1月箱根青年部向会長の名において、設立準備総会を招集する。
2. 設立準備総会においては下記の事項を審議する。
- (1) 新青年部の規約の制定
 - (2) 新青年部の平成27年度役員選任
 - (3) その他必要と認める事項

（設立総会）

- 第3条 新青年部においては、平成27年4月（予定）に新青年部総会を招集する。
2. 設立総会においては下記の事項を審議する
- (1) 小田原青年部、箱根青年部の平成26年度事業報告
 - (2) 小田原青年部、箱根青年部の平成26年度決算報告
 - (3) 新青年部の平成27年度事業計画
 - (4) 新青年部の平成27年度事業予算
 - (5) 平成27年度役員選任
 - (6) その他必要と認める事項

（会計の引き継ぎ）

- 第4条 小田原青年部、箱根青年部の平成27年3月31日現在の承する。

（新青年部の役員）

- 第5条 新青年部には、下記の役員を置く。
- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 理事 若干名
 - (4) 監事 若干名
 - (5) 相談役・顧問・直前会長 若干名
2. 新青年部の役員任期は1年とする。役員においては再任については、連続して2回以上の再任をすることができな

（役員選任方法）

- 第6条 新青年部の平成27年度役員選考については下記の要領により行う。
- (1) 会長選考委員会の設置 平成26年8月（予定）
 - (2) 両青年部理事会において会長候補者の承認 平成26年10月（予定）
 - (3) 会長候補者による他役員候補および両青年部理事会による承認 平成26年12月（予定）
 - (4) 会長他役員選任（設立準備総会） 平成27年1月（予定）

（会長の資格）

- 第7条 新青年部の平成27年度会長は下記の者より会長選考委員会において選出する。
- (1) 両青年部の副会長経験者（平成26年度卒業予定者を除く）
 - (2) 平成26年度の両青年部会長

（会長選考委員会）

- 第8条 会長選考委員会は下記の者で構成する。
- (1) 両青年部会長
 - (2) 両青年部副会長
 - (3) 両青年部監事

（事業、出向関係の継承）

- 第9条 小田原青年部、箱根青年部において行ってきた事業は、新青年部に継承される。
2. 行政機関および他団体に対して小田原青年部、箱根青年部が行ってきた会員の出向については、出向先団体との調整の上、出向関係は新青年部に継承される。

（協定書の承認）

- 第10条 小田原青年部、箱根青年部は、平成26年4月中に総会を開催し本協定書の承認を受けるものとする。両青年部の承認を得たときに本協定書はその効力を生ずるものとする。

（その他）

- 第11条 本協定書に規定する事項以外の事項であっても、合併に関して必要な事項のあるときは、合併条件に影響のない限り、両青年部の会長において協議し、これを決定することができるものとする。

本協定を証するため、本書2通を作成し、両青年部会長が署名捺印し、各1通保有する。

平成 26 年 5 月 9 日

小田原箱根商工会議所箱根青年部会長

中嶋 順

小田原箱根商工会議所小田原青年部会長

浅野 達也



小田原箱根商工会議所青年部
設立10年のあゆみ



小田原箱根商工会議所 青年部 平成27年度 初代会長



やまね

こうじ

山根 宏 治

平成27年度スローガン

ひとつになって、
小田原箱根をもっと元気に

会長所信

日本で初めての商工会議所は1878年、黎明期の日本経済を隆盛に導こうとする志の下、企業の社会的責任を唱えた渋沢栄一を発起人に、興国の気概溢れる実業人が集まって設立されました。

その後、国内外の経済情勢は様変わりしましたが、変わらぬ志の裾野は全国に広がり、いまでは、527商工会議所が、会員企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的とした活動を各地で推進しています。私たち小田原箱根商工会議所青年部(小田原箱根YEG)もまた「議論して、行動して、結果を自ら問う」小田原箱根商工会議所において、その志と目的を共有しています。

私たち青年部(小田原箱根YEG)は、これまで実質的に小田原青年部と箱根青年部の連合体でしたが、平成27年度より名実ともに一つの青年部として活動してまいります。会員数150名の大所帯(全国20位相当の青年部単会)となりますが、これまで研鑽を重ねてきた青年部活動(YEG活動)の志や目的に変わりはありません。私たち青年部会員(YEG)は皆、青年部活動を通して諸先輩方の薫陶を受け、青年部会員としての目的意識を高めてきました。私たちは、これからも小田原青年部と箱根青年部の足跡を受け継ぎながら、一つの青年部として歩み続けてまいります。

一方、これまでの小田原青年部と箱根青年部の事業については、一つの青年部へと移行することを契機にゼロベースでの見直しを試み、更なる質の向上と合理性を追求してまいります。私たち一人一人が初心に立ち返り、自らの視野を広げることで成長を遂げる機会としたいと考えています。そして、これからも私たち青年部が小田原箱根の地域経済社会をもっと元気にできるよう、もっと役に立てるよう、果たすべき役割と責務について認識を深めてまいります。

私たち青年部は、会員企業の発展と小田原箱根の豊かな地域経済社会を築くことを目的に活動してまいります。小田原青年部と箱根青年部の志を受け継ぎながら、お互いに一つの青年部となったことを自覚し、自らの青年部活動の波及効果を内外で高めてまいります。そして、小田原箱根の地域経済社会をもっと元気にできるような貢献してまいります。



すずき だいすけ

鈴木 大介

平成28年度スローガン

小田原箱根YEGは
地域コミュニティの中核となる

会長所信

小田原箱根YEGは設立2年目を迎えます。小田原箱根商工会議所の中にあった箱根と小田原の2つのYEGが協働して設立した小田原箱根YEGは、両青年部のこれまでの歩みを原点として、取り組みの質の向上と更なる合理性を求めながら綱領と指針に示されたYEGのあるべき姿、進むべき道に歩を進めています。

歴史を重ね独自のアイデンティティを培ってきた組織同士の融合は決して簡単なはずはなく、多種多様な困難が山積しておりますが、それでも平成27年度は設立初年度にも関わらずYEGの強みであるメンバー同士の結束の強さ、冷静な判断力、熱い意志、そして寛容の心と高い環境適応能力をもって着実にそれを乗り越え、組織としてもメンバー各々として成長していると思います。私は1人のメンバーとして小田原箱根YEGポテンシャルにあらためて感銘を受け、その将来に大きな可能性を感じずにはられません。

それと同時に、このようなタイミングで会長に推して頂いた自分の責任の重さを感じながら、会長という職責に全力で取り組むチャンスを頂いた事に大きな喜びを感じています。これから長く歴史を重ねてゆく小田原箱根YEGの礎の1つになれるよう、全力で取り組んでまいります。

小田原箱根商工会議所 青年部 平成29年度 第3代 会長



こばやし たいいちろう

小林 泰一郎

平成29年度スローガン

人を活かせば自分が生きる
YEGの行動力はこのまちの活力となる！！

会長所信

国内有数の観光地箱根、歴史深い城下町小田原

このまちの活性化の原動力となるのは商工業の発展であることは間違いありませんが、個々の企業の活性化の原動力となるのは人間力の向上であると考えます。

郷土小田原の偉人・二宮尊徳先生が言われたように経済には道徳が不可欠なものであり、経済の中心に居るのは常に人である以上徳を身に付けた”人財”が数多くいるまちこそ元気な商工業者が集まるまちになるのではないのでしょうか。そしてそんなまちが魅力的で多くの人交流するまちになるのです。

我々小田原箱根商工会議所青年部は、設立3年目を迎えます。箱根と小田原というそれぞれ違った特長を持った地域を活動エリアとする中で、普段自分が生活するエリアだけにとどまらず、貪欲に我々小田原箱根YEGの活動エリアの魅力を追求め体感していきます。数々のイベントや研修や会議などの青年部活動を通じて知識・経験を積み重ねながら人間力を磨き上げていくことが出来る組織を目指します。

誰かがやるから…ではなく、率先して自ら動く行動力のある人財を育ていく青年部活動を推進します。

小田原箱根商工会議所 青年部 平成30年度 第4代 会長



まつした

ひろき

松下 弘樹

平成30年度スローガン

**YEG GENERATION!!次代への
先導者として小田原・箱根を輝かせよう**

会長所信

小田原箱根商工会議所青年部は設立4年目を迎え、地域社会を支える青年経済人として豊かで住みよい郷土づくりに貢献するため、日々活動や自己研鑽をして常に新しいモノを生み出す青年経済団体です。

諸先輩方が築き上げた歴史を引き継ぎ、会員や新入会員にとって魅力のある会になる様、次代へと引き継ぐ事が私の使命です。

受け継いだ歴史や事業を宝とたとえ、今まで行ってきた事業や例会を今年度は若い世代の柔軟な発想で進化させ、未来への宝として変えていく挑戦をします。

次代への先導者として、小田原・箱根エリアの状況をしっかりと把握し、青年部だからできること、青年部しかできないことを会員全員で理解し、地域を支える青年経済人として私たちの活動が小田原・箱根に輝きを与えることを目的とし、目的達成のために一人一人が進化しなければならないという志を持って行動していきます。

また、小田原・箱根の経済と観光は切っても切れない関係です。観光に関する取り組みや、10年、20年先の小田原・箱根の観光ビジョンを商工会議所や行政との連携を更に強化し、商工会議所活動の一翼を担い、地域の先導者として小田原・箱根の未来に寄与していきます。

青年部活動で得た知識・徳・楽しさを自企業に活かし、チャンスを広げ会員全員が小田原箱根商工会議所青年部の一員であることが誇りに思えるよう行動してまいります。

一年間どうぞよろしく願いいたします。

小田原箱根商工会議所 青年部 平成31年度 第5代 会長



かとう

ちしお

加藤 千潮

平成31年度スローガン

自己の成長のために力を合わせ行動し地域や自企業の
未来のために信頼される人材となる ～繋ぐ～

会長所信

小田原箱根商工会議所青年部は設立後5年目を迎え、今年は天皇陛下の退位・即位があり新しい時代の始まりです。またオーストラリア代表のワラビーズが小田原で事前合宿を行ったラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されます。来年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や2025年の大阪万博の開催も決定し、子供たち次世代へバトンを渡す変化の年と考えます。またITの進化等により時代の変化も目まぐるしく、小田原箱根地域の未来の目指すべき姿を考え、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ活動に邁進してまいります。

このような背景の中、本年度は当青年部が今後どこを向いて行動すべきか、また各種事業を再検証しどのように今後展開していくべきか考え次世代へ繋いでまいります。また、個人の集まりが団体であり小田原箱根商工会議所青年部が地域に期待され強い団体になるためにも会員個人のモチベーションを上げることが最重要と考えます。個人や自企業の成長に繋がる研修や会員が活動を通し個人としても成長することで当青年部を愛し活動の幅を広げられるようにします。そのことが引いては会員個人が一番の宣伝媒体になり、個人としても素晴らしい団体と感じ知人友人に紹介することが一番の会員拡大と考えます。

過去と未来を繋ぐ、商工会議所青年部と会員を繋ぐ、会員と会員を繋ぐ、自企業と青年部活動を繋ぐ、地域と商工会議所青年部を繋ぐ、本会と青年部を繋ぐ、商工会議所青年部と他青年団体を繋ぐ、他にも色々「繋ぐ」をキーワードにして今年度は行動してまいります。

小田原箱根商工会議所青年部は約130名の会員で構成されています。これは小田原箱根地域の青年団体でも最多であり地域からの期待であると確信しています。小田原箱根商工会議所や日本商工会議所青年部などの方向性もしっかりと理解して行動しつつ地域団体の中心となるよう行動してまいります。

先輩方の築き上げてきた誇るべきこの団体の会長をお受けするにあたり伝統と責任の重さを感じております。仕事や家庭などで各自大変な中、関係各所や会員の皆様の協力なくしては勤め上げられませんが地域や仲間のために行動する事が自分の成長につながると信じ先頭を切って行動してまいります。

小田原箱根商工会議所 青年部 令和2年度 第6代 会長



おおたに まこと
大谷 真

令和2年度スローガン

**YEG活動で得られる経験とその経験から得られる
感情がこのまちを豊かにする ～共に～**

会長所信

時代の変化のスピードは年を重ねるごとに加速し、ボタンひとつで瞬く間に情報が世界に知れ渡ります。凄まじい技術の発展がこの世の中にたくさんの幸せをもたらしている一方で、人間関係が希薄になり、なにか無機質で大事ななにかが足りないと感じる時があります。

感情が飛び交う場所、絆を確かめ合える場所、夢を語れる場所、それがYEGだと確信しています。

わたしたちはひとりひとりの業種や立場、環境が違っていても、高い意識と志を持って、自らの意思でYEGに入会し、その中で様々な気づきがあり、学びがあり、時に摩擦を生じながら活動に取り組み、自己研鑽を重ねています。50歳までという限られた時間しか居ることの出来ない情熱に満ちた場所にひとりでも多くの仲間を巻き込むにはどうしたらいいのか。

YEGメンバーの皆さんは、入会当初、綱領・指針を理解し共感して入会しています。それはこのまちを豊かにしたい思いからではないのでしょうか。

そこで今年度のスローガンは「YEG活動で得られる経験とその経験から得られる感情がこのまちを豊かにする」と掲げました。

学び知ることによって感動する経験、自企業の将来を思い描き胸が熱くなる経験、自らの活動を発信することによって気分が高揚する経験、全国でYEG活動に励む同志達や地域の人たちとの繋がりを感じる経験、伝統文化に触れ温かさを感じる経験など、YEG活動から得られる経験とその経験から得られる感情と生きた言葉は、自身の成長となり、それは自企業の発展に繋がりを、やがてはこの地域の繁栄に結びつくと信じています。

共にすばらしい時間を過ごしましょう。

小田原箱根商工会議所 青年部 令和3年度 第7代 会長



いしづか じゅんいち

石塚 順一

令和3年度スローガン

勇往邁進

～今だからこそ、次なる時代への大切な一步 感動を創る～

会長所信

今、新しい時代への大転換期を迎えています。

産業技術の発展により、20世紀後半には交通手段が発達し海外への移動も容易になり、また21世紀にはIT技術の進化によりインターネットを通じ世界中の人々と交流を持てるようになりました。今日では、世界が身近なものになり、豊富な情報や多くの知識が取り入れられます。しかし昨年からの新型コロナウイルスの影響により、全世界の人類の行動が制約を受け、今までからは想像のできない時代になっています。小田原箱根の地域も例外ではなく、多くの企業の経営に大きなインパクトを与えました。

私たち青年部会員は、各会員企業を代表してYEGの活動に参加しています。各事業所があるからこそYEGに参加でき、YEGに参加するためには会員企業の発展は必要不可欠です。コロナ禍の中でも、ピンチをチャンスと捉え、新しい時代に向け、挑戦し、成長し続ける青年経済人もいますし、成長・革新を続ける企業も多くあります。

私たちも、この激動かつ瞬く間に時代が変化する時代に生き残るためには、時代に対応するための慧眼を持ち、私たち青年経済人は時代を先駆けるための情報と知識を取り入れ、その情報と知識を活かし、行動力を発揮することが試されています。

小田原箱根商工会議所青年部は、設立から7年目を迎え、今年度は117名の会員でスタートし、神奈川県内でも多くの会員を有する単会です。

時代の転換期だからこそ、会員全員が新しい時代に向け真剣に議論し、アイデアを持ち寄り、時には意見をぶつけ合い、目的を達成した時にはみんなで喜びを分かち合い、一人ひとりの力は限られていても、多くの力がまとまれば、大きなイノベーションを生み出します。小田原箱根の地域に多大に貢献することができ、多くの「感動」を創出します。

今年度のスローガンを「勇往邁進 ～今だからこそ、次なる時代への大切な一步 感動を創る～」としました。青年部の綱領に「先導者たる気概で研鑽に努めよう」との一節がありますが、今こそ、勇気を持って新しいことに挑み続ける、前向きな気持ちが必要不可欠です。

また、YEGの活動の目的として、1.自己研鑽や交流を通じての会員の資質向上、2.会員企業の発展、3.自己研鑽、企業の発展を通じて地域経済、地域社会への貢献の3つがあげられます。この要素は、青年部にはどれひとつも欠かせないものであり、我々会員はこれらを意識して活動する必要があります。

YEGの活動の原点を意識し、青年部での例会など各事業を活動することのみを目的とするのではなく、活動することによって得られる知識や経験を会員各自に、また各事業所に還元し、事業所の発展、地域への貢献に役立てるよう、青年部の事業を行ってまいります。

青年部には多くの仲間がいます。その仲間と、真摯な気持ちで活動に取り組み、時には楽しみながら、日常の生業とYEGの活動を両立することにより、会員企業の発展、地域への貢献、そして地域の明るい未来が見えていきます。我々が小田原箱根の地域に目を向け、地域の人たちとよりよい「まち」を創造し続けることにより、YEGの価値も向上し、地域に必要とされる団体となることのできるのです。

令和元年度から令和2年度は、コロナ禍で青年部事業の開催の縮小・断念することがありました。令和3年度はその活動や想いも引き継ぎながら、時代を繋ぎ、会員が一丸となって共に活動してまいります。

志高く、新しい時代に向け、歩みを進めましょう！

小田原箱根商工会議所 青年部 令和4年度 第8代 会長



まきの

すみよ

牧野 澄世

令和4年度スローガン

持続可能で強固な組織へ向かって

「Re start」

会長所信

青年部に入会して随分と長い時間がたちました。10年前の私は、積極的に活動していない会員の一人でした。そんな私が会長を拜命するに至ったのは、あの時の消極的な私の開かずの扉を壊れそうなくらい叩いてくれた仲間がいてくれたからこそです。そして、そこから私の青年部活動が「Re start」しました。

今現在も10年前の私のような会員がいます。そして追い打ちをかけるように新型コロナウイルスがもたらした様々な影響によって、青年部が遠い存在になってしまった会員もいます。集まらない事、近づけない事、飲食を共にできない事によって、人と人との心の距離は、今まで以上に離れています。しかし私は、この危機的状況だからこそ青年部が進化する好機となると確信しています。

まずは、今まで続けてきたこと見つめなおし、リセットすべきところはリセットし、しっかりと前を向き、新しい事に挑戦できるようにこの会を「Re start」します。

青年部は、地域に必要とされる団体として持続可能な明るい未来に向かって歩み出さなければなりません。そのためには、今まで通りではなく、全く新しいことに挑戦していく必要があります。今年度、挑戦する事を、【祭りごと(政)】とします。

青年部が一丸となり、地域の経済的発展の支えとなる祭りごと(政)を開催することで、会員の積極的な活動を促し、私たち自身が研鑽を積み、地域を盛り上げ、一体となり、豊かで住みよい郷土づくりに貢献します。私は、「持続可能で強固な組織へ向かって」というスローガンを掲げました。組織が持続可能となるためには新たな仲間を増やしていく必要があります。そのために、青年部内のデジタル化を推進し、魅力ある新しい価値を発信すると共に継続的なアプローチを展開し、デジタルと人的な力の融合による、つながりを大切にした、新たな会員拡大を行ってまいります。

そしてより強固な組織となるように共通目的とし青年部の各種大会を誘致して参ります。そのためには、他団体、他単会との交流が必要不可欠です。他団体、他単会には独自の魅力や、知識、経験があります。そこから学び、結束を高めながら青年部ならではのネットワークを育み、青年部をアップデートしていきます。各種大会を誘致するには、青年部の結束力が絶対に必要です。そのために110人を超える会員1人ひとりが会の柱となれるよう会員相互で研鑽しながら交流できるような会を目指します。

青年部設立以来、女性として初の会長職をお預かりさせていただくとともに、諸先輩方より代々受け継がれてきた襷を受け止め、青年部を発展させていただくことをお誓い申し上げ、小田原箱根商工会議所青年部令和4年度会長所信とさせていただきます。

小田原箱根商工会議所 青年部 令和5年度 第9代 会長



きたむら

のりひろ

北村 徳宏

令和5年度スローガン

～あなたの成長が地域の力となる～

会長所信

パンデミックで様変わりした社会・経済・人々の暮らし、そして激動する世界情勢。

世界で起きていることがわれわれの暮らしに即座に影響する変化の時代。
これからわれわれはどう考え行動すべきか。

江戸時代に活躍した地域の偉人「二宮尊徳」は、飢饉や洪水など様々な困難を乗り越えるなかで
道徳と経済は一体と喝破し、万物にはそれぞれ徳があり、徳をもって接することで徳を引き出すという
報徳の思想を説きました。

時代は変われど人々の抱える問題や困難はそれほど変わりません。
困難を乗り越える解決法は常にわれわれ自身のなかにあります。
歴史に学び、知恵を絞り、行動する。

変化の時代を乗り越えるためにはわれわれ自身が人として成長することが大切です。

人こそ最大の財産＝「人財」視野を広げ繋がりを大切にひとのために働くことの大切さを学び
徳を備えた人間を共に目指そう

「人財」が揃った地域は自ずと光を発し、地域の価値を高め、地域の経済を伸ばす。

青年部活動には人を成長させる要素がたくさん詰まっています。YEG のすべての活動を通じて共に考え、
行動し、経験を積み、人間力を磨きましょう。



きくがわ てつや

菊川 鉄也

令和6年度スローガン

つぼみ～team project. C・B～

会長所信

一つひとつのファクトが「豊かな文脈」を持っている。過去のファクトが生起した背景や結末を理解し、自身の文脈の中に位置付ける。歴史の二次資料により伝えられし過去と高度経済成長期前後からの膨大な情報から本質を引き出すことが出来なければ、未来を実現していく事は難しいだろう。

時代を越えても価値を失わないものがある。人類の叡知が詰まった書籍のことだ。歴史上には頭の切れる人や優れた人格者が数多くおり、私たちが抱えているような問題には、すでに答えを出しているか、少なくとも重大なヒントを残している。

災害や未知のウィルスは、私たちの衣食住を一時的にガラリと変える。論理的に未来予測をしたところで、想定外の出来事が起こるかもしれないのは、この10年を見れば明らかだ。それでも、未来と向き合う事を諦めてはいけない。私たちを取り巻く環境は変わっていく。しかし、現状の知識と歴史の文脈・古典を活用し、考え・学び・行動する力を持てば、未来にも対応できる。私たちが将来のためすべきことは、未来のつぼみは、今にある。

組織または地域の活性化において重要なのは、狭い範囲で散発的に開発する事ではなく、将来この地域をどうしたいのかという「ビジョン」である。曖昧な世界では、トライ&エラーのサイクルを短くまわし、反復を長期にわたって継続するという戦略が必要となる。すなわち、個人のなかから湧き出てくるビジョンを駆動力にするしかない。ビジョン思考を習慣化し、工夫しながら何かを生み出すというクリエイティブなプロセスそのものが、地域経済の発展へとつながる。ビジョンを原動力として行動し続ければ、出会いが生まれてくる。「同じビジョンを持つ人と一緒に何かを成し遂げたい」と考え、ビジョンを具体化したうえで、それをより大きなゴールへと向かうアプローチが、これからの時代では求められている。

地方から東京へ人口が流出する一番の原因は、都市部に比べて地方に魅力的な仕事が少ないことである。しかしこれからは、地方でも起業を促し、新たな雇用を創出する動きが強まっている今、地方ならではのイノベーションを生みやすい特性と、その土地のプロジェクトに参加する関係人口を増やし、人と人との交流が生まれやすい環境をつくり、多様な市民のリアルな声を反映した街づくりが必要である。

小田原箱根商工会議所 青年部 令和6年度 第10代 会長

こうした地域のPRを増やし、全国的な知名度を上げることで、「地方に面白い仕事がない」というイメージを払拭し、地域活性と共に起業できる流れを生み出し、地域から離陸する時代から、地域へ着陸する時代へと変え、地域が持つ固有の価値や、風土的・文化的多様性への関心を高めていく。

人口もさることながら、我々の会員数についても触れていく。会員数が増加した時代、それは画一化が進み、集団の同調圧力が強い時代だ。一方で減少時代は、このような強力で一元的なベクトルから人々が解放された時代である。昭和に限りない拡大・成長を志向し、平成がバブル崩壊・人口減少へと、そして令和は本格化する人口減少に向き合いつつ、そこにいくつものポジティブな可能性を見出し、真の豊かさを実現する時代であろう。そうした現代の日本人はつながりを失い、社会的に孤立している人が多い。我々も、閉じるのではなく開く、そして、各コミュニティや他団体との境界を越え、「つながっていく」、そのような公共性の高い団体をめざすべきである。

これからの時代は、既存の知識が通用しなくなる可能性が高く、疑問があれば Googleで検索してしまえば済んでしまい、知識力だけを見れば、Googleとなる。逆に重要になってくるのが、良質な問いである。この良質な問いを可能にするのは、好奇心による「なぜ?」となる。その為には、会のルール、すなわち規則を徹底して学ぶ必要がある。そして、規則性や法則を構成するシステムを検証し、事業が進む方向を本質的に見定め、「あるべき姿は何なのか?」という問いを忘れず、勇気を持って改革をする必要がある。

地域にとって重要な人材とは、見えていない課題を自ら設定し、解決策を導き出せる青年である。我々は、社風も業態も幅広く異なっている20代から50歳まで、営業担当や技術者もいれば、やる気がある人もない人もいる。これには、加速していく多様性を、身をもって体験し、自分と合わない人間とも議論を重ねてアウトプットをしていくということを意味する。また、ビジネスがますますスピードアップする昨今、意思決定にかけける時間は短くなる一方だ。だからこそ、事業実施に対する時間的な厳しさも、未来のリーダーたちに必要な試練だと考える。我々は、その限られた時間の中で、効果的に目的達成するためには、資源を磨き、その複数の資源を組み合わせる。これにより、個々の資源の単純な和よりも大きな効用が発揮される。新しい会長になる度に方針が変わる必要はあるのか? 結論は、目的あるいは資源に変化が生じない限り、変更する必要はないということ。道に迷ったら綱領・指針に立ち返ることだ。

子どもの頃考えていた「なりたいもの」の姿が、成長するにつれてぼやけてきてしまった人は多いのではないだろうか。自分が人生で何をやりたいのか、見失ってしまった時にこそ、今、隣にいる青年と学んでみてほしい。学びや経験が深まることで、自分の適性や能力を改めて見つけ、それを社会で活かすための道が見えてくるはずだ。今は「つぼみ」かもしれない。しかし、人生を通し学び続ける事で、新たな道に挑戦できる。

胸に「つぼみ」を、右腕に「Restart」を、左腕に「徳」を、背中に人生を背負い、仲間と共に TRYし、最後は最高のビールを飲もうじゃないか。

小田原箱根商工会議所青年部
現役メンバー紹介



小田原箱根青年部 現役メンバー

綾部 学志

西湘ボデー(有)

〒256-0817 小田原市西酒匂3-4-16
TEL:0465-47-2495 FAX:0465-47-2375

稲葉 光

(有)箱根清掃公社

〒250-0401 箱根町宮城野921-13
TEL:0460-87-6121 FAX:0460-84-4471

大塚 大輔

(株)大輝電設

〒250-0002 小田原市寿町1-10-16-1
TEL:0465-35-1781

池田 彩乃

(一社)日亜国際友好協会 箱根支部

〒250-0862 小田原市成田507-7 河野店舗102
TEL:0465-25-2806 FAX:0465-25-2806

井上 崇

イノス(株)

〒250-0211 小田原市鬼柳138-21
TEL:0465-37-2555 FAX:0465-36-4972

小澤 篤至

宗教法人 箱根神社

〒250-0522 箱根町元箱根80-1
TEL:0460-83-7123 FAX:0460-83-6669

池田 大樹

ドリームワークス(株)

〒250-0012 小田原市本町1-10-30
TEL:0465-22-0622 FAX:0465-22-0633

岩瀬 忠輔

岩瀬不動産(有)

〒250-0874 小田原市鴨宮692
TEL:0465-49-6077 FAX:0465-49-6057

小関 康一

行政書士法人 小関事務所

〒250-0003 小田原市東町5-8-7
TEL:0465-34-5995 FAX:0465-35-2224

石井 良

合同会社Arrabiata boys club

〒250-0011
小田原市本町2-4-39 共立本町マンション401

岩田 貴利

(株)fabrica

〒250-0401 箱根町宮城野61
TEL:0460-87-7118 FAX:0460-24-1872

小野 雄史

(有)タクト

〒250-0862 小田原市成田197-1
TEL:0465-37-6371 FAX:0465-37-6372

石塚 順一

(株)相州不動産

〒250-0011 小田原市栄町2-4-5
TEL:0465-23-6211 FAX:0465-23-6202

岩本 和紀

ウェディングエキスパーツ(株)

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-22-9
TEL:0465-20-3793 FAX:0465-20-3794

加藤 長治

(有)城北自動車商会

〒250-0212 小田原市西大友124
TEL:0465-36-6799 FAX:0465-36-6759

石綿 秀規

小田原電機(株)

〒250-0011 小田原市栄町2-13-57
TEL:0465-22-2942 FAX:0465-22-3012

戎谷 優

Chez chou chou

〒256-0875 小田原市南鴨宮3-49-3
TEL:0465-20-4737 FAX:0465-20-4737

金井 篤

(株)Japan Good Tire Solution

〒259-0151 足柄上郡中井町藤沢641
TEL:0465-43-7593 FAX:0465-43-7594

市川 充宏

(株)まるだい運輸倉庫

〒250-0862 小田原市成田480-5
TEL:0465-37-8611 FAX:0465-37-8620

綾部 学志

西湘ボデー(有)

〒256-0817 小田原市西酒匂3-4-16
TEL:0465-47-2495 FAX:0465-47-2375

金井 大典

(有)小田原種秀

〒250-0012 小田原市本町1-13-14
TEL:0465-22-6238 FAX:0465-23-4306

市島 健紀

(株)相模

〒250-0011 小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F-A
TEL:0465-22-2317 FAX:0465-27-2020

蛭美 幸浩

(有)日進自動車ガラス

〒256-0816 小田原市酒匂2-30-8
TEL:0465-48-2702 FAX:0465-47-1045

金子 康寛

金子商会本店「金子クリーニング」

〒250-0852 小田原市栢山1045-1
TEL:0465-36-3885 FAX:0465-37-9883

稲葉 潤

(株)アクアサービス

〒250-0401 箱根町宮城野1324-74
TEL:0460-86-1101 FAX:0460-86-1100

太田 祥子

NPO法人すずらんチャイルドケア豊川すずらん保育園

〒250-0862 小田原市成田646-3
TEL:0465-87-5625 FAX:0465-87-5294

金田 正大

(株)エコ・アール・カナダ

〒250-0001 小田原市扇町2-11-2
TEL:0465-34-4365 FAX:0465-41-1772

小田原箱根青年部 現役メンバー

神尾 繁昌

神尾社会保険労務士・行政書士事務所
〒250-0877 小田原市上新田137-5
TEL:0465-43-8333 FAX:0465-43-8350

亀山 樹生

おだわら共生会合同会社
〒250-0205 小田原市曾我別所806
TEL:050-8884-3838 FAX:050-8884-3839

川瀬 豊州

(株)カワセ
〒250-0001 小田原市扇町2-7-11
TEL:0465-35-5585 FAX:0465-35-5584

川瀬 正浩

(有)川瀬商事
〒256-0812 小田原市国府津1992
TEL:0465-48-1165 FAX:0465-48-1163

菊川 鉄也

菊川運送(有)
〒250-0311 箱根町湯本706
TEL:0460-85-5365 FAX:0460-85-8718

北野 和信

(有)だいが
〒250-0001 小田原市扇町1-12-27
TEL:0465-34-9656 0465-34-8962

北村 徳宏

(株)プレミアム
〒250-0011 小田原市栄町1-5-22
TEL:0465-24-2211 FAX:0465-24-3909

國安 則至

(株)中村屋
〒250-0011 小田原市栄町1-5-22
TEL:0465-24-2211 FAX:0465-24-3909

鈿持 将右

(株)鈿持塗料店
〒250-0011 小田原市栄町2-12-15
TEL:0465-22-4118 FAX:0465-22-4110

小泉 賢二

こいずみ木工場合同会社
〒250-0863 小田原市飯泉1273-5
TEL:0465-46-6744 FAX:0465-46-6744

小玉 智武

ベストリネンサプライ(株)
〒250-0876 小田原市上新田22-1
TEL:0465-48-8256 FAX:0465-48-8257

後藤 健太郎

(有)判田屋
〒256-0811 小田原市田島734-11
TEL:0465-42-1381 FAX:0465-42-3923

小林 祐輝

パブ ル・モン
〒250-0011 小田原市栄町2-2-11
TEL:0465-46-6604

小森 久司

(有)学習社
〒250-0012 小田原市本町1-10-25
TEL:0465-24-3822 FAX:0465-23-6250

戎谷 優

Chez chou chou
〒256-0875 小田原市南鴨宮3-49-3
TEL:0465-20-4737 FAX:0465-20-4737

佐藤 一貴

さがみライフサービス(株)
〒256-0817 小田原市西酒匂1-3-52
TEL:0465-45-4400 FAX:0465-48-9100

佐藤 克俊

(株)美装フジモト
〒250-0866 小田原市中曾根92-6
TEL:0465-36-2684 FAX:0465-36-8183

佐藤 信次

お好み焼き たか美
〒250-0042 小田原市荻窪433-1
TEL:0465-32-4791

佐藤 充

(有)サトー設備
〒250-0631 箱根町仙石原1246
TEL:0460-84-9833 FAX:0460-84-4312

橘 充

マルハン小田原店
〒256-0812 小田原市国府津2810-1
TEL:0465-43-9334 FAX:0465-43-9373

澤田 大佑

政富
〒250-0875 小田原市南鴨宮3-6-13 天野ビル1F
TEL:0465-43-6686 FAX:0465-43-6697

澤田 勇太

小田原フラワー
〒250-0045 小田原市城山1-4-19
TEL:0465-34-8787 FAX:0465-34-8787

権野 託実

(株)EDEN
〒250-0861 小田原市桑原194
TEL:0465-46-7737 FAX:0465-46-7736

権野 実希

(有)拓伸
〒250-0863 小田原市飯泉220-3
TEL:090-9019-2002 FAX:0465-42-9149

嶋 雄司

(有)島写真館
〒250-0408 箱根町強羅1300-280
TEL:0460-82-2749 FAX:0460-82-2749

島田 武典

島田酸素(株)
〒250-0003 小田原市東町4-1-5
TEL:0465-34-5706 FAX:0465-34-9851

梶崎 晃久

(株)大半商店
〒250-0012 小田原市東町5-14-12
TEL:0465-35-8558 FAX:0465-35-5858

小田原箱根青年部 現役メンバー

杉崎 尚人

(有)おむろアカデミー
〒250-0865 小田原市蓮正寺124-2
TEL:0465-38-0663 FAX:0465-38-0660

高橋 修

神奈川トヨタ自動車(株)開成店
〒258-0023 足柄上郡開成町宮台225
TEL:0465-82-1411 FAX:0465-82-1415

橋上 賢太

(有)日清亭
〒250-0311 箱根町湯本703
TEL:0460-85-5244 FAX:0460-85-5484

杉山 隆寛

(有)ちもと
〒250-0311 箱根町湯本509
TEL:0460-85-5778 FAX:0460-85-5779

高畠 康敬

光設備工業(株)
〒250-0401 箱根町宮城野6-6
TEL:0460-82-4334 FAX:0460-82-4335

橋本 大幹

(株)アルバ
〒250-0011 小田原市栄町1-17-32
TEL:0465-22-6797 FAX:0465-22-6221

杉山 雄一

(有)杉山鉄工所
〒250-0002 小田原市寿町4-9-20
TEL:0465-35-2491 FAX:0465-35-6731

天満 正俊

ゼロスタート・コンサルティング
〒250-0005 小田原市中町1-15-1-103
TEL:070-5022-5943

橋本 欽央

(有)J・アドバンス
〒250-0011 小田原市栄町1-9-10
TEL:0465-21-0551 FAX:0465-21-0552

鈴木 聡

メットライフ生命保険(株)
〒250-0011 小田原市栄町1-14-52 MANAX 7階
TEL:0465-23-6251 FAX:0465-23-6259

中里 高士

(株)ファーストサービス
〒250-0401 箱根町宮城野848-2
TEL:0460-86-1052 FAX:0460-86-1055

畠山 智也

(有)畠山自動車
〒250-0035 小田原市南板橋2-220
TEL:0465-22-0200 FAX:0465-22-4695

鈴木 聖

シグマ精器(株)
〒140-0001 東京都品川区北品川1-1-15
TEL:03-6717-4017 FAX:03-6717-4141

中野 慎吾

Design EXIT
〒258-0010 足柄上郡大井町大井中央46
TEL:0465-44-4298 FAX:0465-44-4299

花岡 重徳

(株)工務ハナオカ
〒256-0815 小田原市小八幡4-11-19
TEL:0465-47-6894 FAX:0465-47-9565

鈴木 佳真

鞍馬
〒250-0011 小田原市栄町1-12-7
TEL:0465-23-4236 FAX:0465-23-4236

中村 友亮

(有)中村屋寿司店
〒250-0311 箱根町湯本691
TEL:0465-45-4400 FAX:0460-85-7351

濱野和 裕也

クラフトペイント
〒250-0034 小田原市板橋1066-5
TEL:080-5476-5296 FAX:0465-43-6597

瀬戸 広太

(株)小田原ジムキ
〒250-0004 小田原市浜町1-2-5
TEL:0465-23-0105 FAX:0465-21-1266

西山 直樹

箱根ガラスの森美術館
〒250-0631 箱根町仙石原940-48
TEL:0460-86-3111 FAX:0460-86-3114

廣澤 勝也

相模肥糧(株)
〒256-0813 小田原市前川405
TEL:0465-43-0131 FAX:0465-43-1999

高木 立

医療法人社団 高木歯科
〒250-0011 小田原市栄町2-8-37
TEL:0465-23-4823 FAX:0465-23-0637

額田 雅之

額田保険事務所
250-0054 小田原市多古381

星 明日香

(有)レントオール小田原
〒250-0012 小田原市東町5-14-12
TEL:0465-36-3535 FAX:0465-36-3533

高田 海樹

(有)プラスワン
〒250-0001 小田原市扇町3-5-8 マザー西丸ビル3階
TEL:0465-35-5152 FAX:0465-35-4483

野澤 昌直

(一社)小田原スポーツクラブ
250-0871 小田原市下堀30-3-103

星崎 哲男

福寿治療室
〒250-0873 小田原市矢作4-3-101
TEL:0465-49-1107

小田原箱根青年部 現役メンバー

牧野 慎一郎

(株)春海水産

〒250-0021 小田原市早川1-4-8
TEL:0465-22-6849 FAX:0465-22-6877

若山 仁大

Global Network

〒250-0004 小田原市浜町1-13-21
TEL:080-3472-0621

園岡 忍

(株)インクループ

〒215-0017 川崎市麻生区王禅寺西3-12-10佐熊ビル3階
TEL:044-959-3750 FAX:044-959-3751

松下 弘樹

松下運送(有)小田原営業所

〒250-0873 小田原市矢作217-1
TEL:0465-45-0666 FAX:0465-45-0667

脇 寛和

フラワーショップFine!

〒258-0021 開成町吉田島4351-1 アベニュー開成C103
TEL:0465-83-8783

篠原 達郎

(株)達建

〒250-0861 小田原市桑原510-16
TEL:0465-87-6604 FAX:0465-87-6604

三浦 千典

(有)ミウラ

〒250-0126 南足柄市狩野90
TEL:0465-74-2213 FAX:0465-74-8188

渡辺 大介

(株)アベストミヤケ

〒250-0012 小田原市本町1-4-4
TEL:0465-21-3116 FAX:0465-22-9971

石井 若菜

松浦建設(株)

〒250-0856 小田原市新屋82-1
TEL:0465-36-2701 FAX:0465-37-3421

村井田 裕之

(有)ムライダ電設

〒250-0004 小田原市浜町4-2-2
TEL:0465-22-4347 FAX:0465-22-7442

小野 大和

小野建設(株)小田原三の丸オフィス

〒250-0012 小田原市本町1-9-30-2
TEL:055-971-2020 FAX:055-975-7700

米澤 和彦

神奈川トヨタ自動車(株)レクサス藤沢

〒251-0042 藤沢市辻堂新町4-3-2
TEL:0466-33-5550 FAX:0466-33-5322

森岡 瞳

(有)タガワ建設工業 ODAWARAケアセンター

〒250-0011 小田原市栄町2-3-4 3F
TEL:0465-43-9746

津川 直樹

(株)小田原機器

〒250-0005 小田原市中町1-11-3
TEL:0465-23-0121 FAX:0465-23-1288

天貝 治雄

(有)小田原市民葬祭

〒250-0005 小田原市中町3-1-2
TEL:0465-21-1114 FAX:0465-21-1115

柳川 大輔

(株)喜の実

〒258-0004 松田町松田庶子869-17
TEL:0465-25-5470 FAX:0465-25-1986

加藤 篤

(株)加藤兵太郎商店

〒250-0001 小田原市扇町5-15-6
TEL:0465-34-7188 FAX:0465-34-7189

須藤 洋介

(有)スドウ工営

〒250-0862 小田原市成田703-2
TEL:0465-39-2021 FAX:0465-39-2025

矢野 晃

(株)海風屋

〒250-0311 箱根町湯本359-2 テラス青葉1号
TEL:0460-85-8558 FAX:0460-85-5258

山口 憲太

(株)食品微生物センター

〒250-0011 小田原市栄町1-7-9
TEL:0465-30-1730 FAX:0465-30-1731

奥津 航太郎

奥津司法書士事務所

〒250-0004 小田原市浜町3-6-9 矢田ビル2F
TEL:0465-25-4443 FAX:0465-25-4734

譲原 英司

譲原建設(株)

〒256-0815 小田原市小八幡3-12-23
TEL:0465-47-3151 FAX:0465-47-8033

市川 大祐

(株)小田急リゾート

〒250-0011 小田原市栄町2-7-25 2階
TEL:0465-24-1230 FAX:0465-43-8141

奥津 雄介

GROW

〒250-0052 小田原市府川2-14
TEL:0465-43-6900 FAX:0465-43-6935

頼朝 淳

(有)双馬塗装

〒250-0863 小田原市飯泉1222-6
TEL:0465-48-4740 FAX:0465-47-0725

関野 恵介

(有)輝関

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-4-18-103
TEL:0465-20-5656 FAX:0465-20-5660

間間 博之

(株)ウェックス小田原営業所

〒250-0001 小田原市扇町1-25-21
TEL:0557-68-5056 FAX:0557-68-5057

小田原箱根青年部 現役メンバー

黒須 大

(株)インビックス

〒250-0853 小田原市堀之内196-2-2平塚店舗103
TEL:0465-55-8152

古澤 光宏

(株)古澤美装

〒250-0865 小田原市蓮正寺208
TEL:0465-36-1950 FAX:0465-39-3337

高橋 茂一

高橋工作所

〒250-0117 南足柄市塚原5022
TEL:090-1205-0576

竹田 大朗

医療法人ゆうあい 竹田整形外科クリニック

〒250-0045 小田原市城山1-6-22
TEL:0465-35-1313 FAX:0465-35-1310

水野 健太

BAR MIZUNARA

〒250-0011 小田原市栄町2-2-11
TEL:090-4432-6228

信國 克幸

(株)テクノリレーションズ

〒256-0816 小田原市酒匂2-7-29
TEL:050-3552-4860

田中 裕介

(有)福美塗装

〒259-0143 足柄上郡中井町北田375-1
TEL:0465-81-3429 FAX:0465-81-8402

武藤 真広

(株)藤和不動産

〒250-0012 小田原市本町2-9-28
TEL:0465-23-8108 FAX:0465-23-8107

一寸木 慎也

西湘(株)

〒259-0202 足柄下郡真鶴町岩874-184
TEL:0465-20-6585 FAX:0465-20-6621

諸星 秀樹

湘南開発不動産(株)

〒250-0862 小田原市成田446-6秋山ビル1F
TEL:0465-20-5228 FAX:0465-20-5226

土屋 彩乃

(株)貝登志

〒250-0021 小田原市早川1-5-3
TEL:0465-24-2049 FAX:0465-24-4854

渡辺 淳司

(株)ウェックス小田原営業所

〒250-0001 小田原市扇町1-25-21
TEL:0557-68-5056 FAX:0557-68-5057

徳尾 まり子

Mary's viewpoint

〒250-0045 小田原市城山3-18-6
TEL:090-6196-9589

原 諒介

富士屋ホテル(株)

〒250-0404 箱根町宮ノ下359
TEL:0460-82-0677 FAX:0460-82-0688

中島 正裕

(株)タウンニュース社小田原支社

〒250-0042 小田原市荻窪306レジデンス宮2F
TEL:0465-35-3980 FAX:0465-30-1290

堀内 とも子

パールホワイトニングサロン

〒250-0011 小田原市栄町2-13-10 2階
TEL:0465-43-8401

永松 範之

(有)湘南ブレーカ

〒250-0055 小田原市久野3758-3
TEL:0465-32-3319 FAX:0465-32-3319

濱田 龍哉

STUDIO ALON合同会社

〒250-0863 小田原市飯泉1180-70
TEL:070-4026-3993

平沼 大典

(株)平沼商店

〒250-0005 小田原市中町3-14-20
TEL:0465-22-2496 FAX:0465-23-2149

近藤 淳也

(有)橋本

〒250-0011 小田原市栄町1-13-37
TEL:0465-22-5541 FAX:0465-22-1611



小田原箱根商工会議所青年部

発行：創立10周年記念実行委員会



10周年記念事業
協賛企業



10周年記念事業
動画